

日 時 令和〇年〇月〇日 (〇) 第〇校時

場 所 〇〇教室

児 童 男子〇名 計〇名

指導者 教 諭 〇〇 〇〇 (T1)

教 諭 〇〇 〇〇 (T2)

支援員 〇〇 〇〇

1 題材名 「〇〇スーパーで買い物をしよう」(数と計算)

2 題材設定の理由

(1) 学級及び児童の実態

本学級は、1年生男子〇名、3年生男子〇名、4年生男子〇名、5年生男子〇名の計〇名の児童が在籍している自閉症・情緒障害特別支援学級である。どの児童も明るく活発であるが、気持ちのコントロールや集中力、コミュニケーション能力に課題を抱えている児童が多い。しかし、普段から「協力」や「思いやり」をテーマに様々な活動に取り組んでいることから、高学年を中心に一致団結して物事に当たろうという意識はとても強い学級である。

算数の学習においては、1年生から5年生まで在籍していることもあり、10までの数を学習している児童から、小数や分数の計算を学習している児童がいるなど、できることには大きな差がある。そこで普段の授業では、前半部分は全体で行い、後半部分は個別の課題に取り組んでいる。なお、授業は実生活に関連した内容を多く設定し、作業や体験を通して算数の楽しさを味わえるように工夫して行っている。

お金については、1・3年生に金種を見分けることができない児童がいる一方で、4年生以上は硬貨の等価交換を理解し、およその物の価値も理解している児童が多い。買い物に関する実生活での経験は児童によって大きな差があり、買い物学習においても課題の内容を配慮する必要がある。

授業態度については、意欲的に一人でも進んで学習しようとする児童、一つ一つの行動に対して具体的な指示を必要としている児童、そのときの気分によっては学習に取り組めなくなる児童など様々である。そのため、課題に対する必然性を感じ取れるようにし、さらに見通しをもって取り組めるようにすることで、主体的・能動的に学習に取り組めるようにする必要がある。

(2) 題材について

本題材では、自立活動で作ったお店屋さんの商品を使って買い物体験をすることで、お金の価値や活用方法、さらにそれぞれの場面にあったお金の計算の仕方を学習する。本題材では、①「お金の種類を知る」②「お金の組み合わせ方を知る」③「買い物をしよう」というように、段階的にお金に関する学習を行っていく。①「お金の種類を知る」の活動では、1円玉から500円玉までの実物の硬貨に触れ、それぞれの硬貨の価値についての理解を深めていく。②「お金の組み合わせ方を知る」の活動では、弁別シートや位取りシートを活用して、10円玉5枚と50円玉、100円玉5枚と500円玉などの等価関係や、10円玉3枚と50円玉1枚で80円になるなどの、お金の組み合わせ方についての学習をする。③「買い物をしよう」では、たくさんの商品の中から指定された金額で買える物を自分で選び、ワークシートを活用してたし算やかけ算、わり算の立式をして合計金額を計算し、レジで支払いをするという日常生活により近い場面を想定した活動を行う。

(3) 指導・支援について

指導においては、「しっかり座ろう」の掲示を意識させることで、良い姿勢で課題に取り組めるようにし、課題に集中して取り組めるよう1つの課題につき10分以内で完結できるものを設定する。また、導入で毎回金種の確認やお金の組み合わせ方（等価交換）に触れることで、知識の定着ができるようにする。

支援に当たっては、ユニバーサルデザインの観点から、活動の見通しがもてるように視覚的な掲示を用いるとともに、指示は短く簡単な言葉で出すようにする。また、場を構造化することで動きの動線を分かりやすくし、児童がスムーズに活動できるようにしていきたい。また、とくに低学年はお金を扱った経験が少ないことから、扱う金種を1円玉・10円・100円玉にしばり、スモールステップで学習を進めるようにする。さらに、買い物活動の際は10円と100円だけの売り場を作ることで、商品を選びやすいようにする。

(4) 研究テーマとの関わり

研究主題「進んで学び、伝えあい、考えを深める児童の育成」
～ユニバーサルデザインの視点をもった 授業改善を目指して～

【ユニバーサルデザインの視点をもった授業作りのポイント】

①授業構成の工夫…導入の工夫で意欲や集中を高める。学習を構造化し、集中の持続を図る。

自分たちで作った物を商品とすることや、電卓レジを活用することで学習への意欲を持たせ続けられるようにする。また、一定した授業の流れを作ることで、見通しをもって取り組めるようにする。

②情報伝達の工夫…非言語指示を工夫する。

刺激の除去を行うために、OKサインやアイコンタクトを行う。

③一人一人の学びへの対応…学び方の違いへの対応を工夫する

自分の力を発揮して課題を遂行できるように複数の課題を用意する。また、動作化・具体物・ICTを活用する。

3 題材の目標

○お金の種類や組み合わせ方を知り、買い物をしようとしている。(知識及び技能)

○それぞれの場面にあったお金の計算をしようとしている。(思考力、判断力、表現力等)

○買い物活動を通してお金の大切さや活用の仕方に触れ、生き生きと活動に取り組もうとしている。(学びに向かう力、人間性等)

4 指導計画 (10時間扱い 本時8/10)

(1) 指導計画

時間	学習内容	目標
1	・硬貨には1～500円玉があることを知る。 ・1～500円玉で何を買えるのかを考える。	A D : 1円玉と10円玉、100円玉を見分けることができる。 B : 硬貨に興味をもち、教師と同じ硬貨を手にとることができる。 C E F G H : 1～500円玉を見分け、おおよその物の価値を言い当てることができる。

2 3	• お金は組み合わせて使えること（等価交換）を知る。 • 場面にあった計算の仕方があることを知る。	AD：1円玉と10円玉、100円玉の金種の大きさが分かり、同じ金種の硬貨の数を数えることができる。 B：1円玉と10円玉、100円玉の中から教師が言った金種の硬貨を手にとることができる。 CEFH：1～500円玉の等価交換を理解し、同じ物が複数あるときにはかけ算を使って計算することが分かる。 G：1～500円玉の等価交換を理解し、割引価格を小数を使って計算できることが分かる。
4	• 財布へのお金の出し入れの練習をする。 • レジの使い方を知る。 • 実際に商品を手に取って、買い物の仕方を知る。	AD：硬貨を落とさないように財布に出し入れし、教師が言った枚数の10円玉と100円玉を手にとることができる。 B：教師と一緒に財布のチャックを開け閉めし、落とさないように硬貨を出し入れすることができる。 CEFGH：硬貨を落とさないように財布に出し入れし、電卓レジの使い方を理解することができる。
5 6	• 金額ぴったりの買い物をする。	A：提示された商品を持ってきて、購入するのに必要な枚数の10円玉と100円玉を出すことができる。 B：教師と一緒に提示された商品を持ってきて、提示された硬貨を出すことができる。 D：提示された商品を持ってきて合計金額を計算し、ぴったりの金額を出すことができる。 CEFGH：たし算やかけ算をつかいながら、500円ぴったりの買い物をするすることができる。
7	• お釣りがある買い物をする。	A：提示された商品を持ってきて、購入するのに必要な枚数の10円玉と100円玉を出すことができる。 B：教師と一緒に提示された商品を持ってきて、提示された硬貨を出すことができる。 D：提示された商品を持ってきて合計金額を計算し、その金額を出すことができる。 CEFGH：たし算やかけ算をつかいながら、合計金額を計算し、レジで値段よりも多いお金を出してお釣りをもらうことができる。

⑧	・半額の買い物をする。	A：提示された商品を持ってきて、購入するのに必要な枚数の 10 円玉と 100 円玉を出すことができる。 B：教師と一緒に、絵と同じ商品や硬貨を手にとることができる。 C F：商品の合計金額を計算し、合計金額の硬貨を並べて半分にすることで、半額の金額を求めることができる。 D：提示された商品を持ってきて、購入するのに必要な枚数の 10 円玉と 100 円玉を出すことができる。 E H：合計金額を 2 で割ることで、半額の金額を求めることができる。 G：小数を使って半額の金額を求めることができる。
9	・割引価格を考えて得になるように買い物をする。	A：提示された商品を持ってきて、購入するのに必要な枚数の 10 円玉と 100 円玉を出すことができる。 B：教師と一緒に、絵と同じ商品や硬貨を手にとることができる。 D：提示された商品を持ってきて、購入するのに必要な枚数の 10 円玉と 100 円玉を出すことができる。 C E F H：商品の個数と合計金額を考えながら買い物をすることができる。 G：小数を使った計算で割り引いた金額を求めることができる。
10	・好きな物を自由に買い物する。	AD：持ち帰りたい商品を自分で選び、購入するのに必要な枚数の 10 円玉と 100 円玉を出すことができる。 B：持ち帰りたい商品を自分で選び、提示された硬貨を出すことができる。 C E F G H：持ち帰りたい商品を自分で選び、合計金額を求めることができる。

(2) 他教科等との関わり

- ・生活単元学習：「遠足のおやつを買いに行こう」
- ・自立活動：「手指を使おう」「みんなで協力しよう」「集中しよう」
- ・図工：「道具を上手に使おう」

5 本時の学習

(1) 共通目標

○お金を組み合わせて支払いをしようとしている。(知識及び技能)

○適切な計算方法で合計金額を計算しようとしている。(思考力、判断力、表現力等)

○お金を使って買い物することの楽しさに触れ、生き生きと活動している。

(学びに向かう力、人間性等)

(2) 個人目標と支援の手立て

名前	学年	個人目標	支援の手立て
A	1年	・提示された商品を持ってきて、購入するのに必要な枚数の10円玉と100円玉を出すことができる。	・毎時間同じ活動を行うことで、自信を持って取り組めるようにする。 ・席を教師の近くにし、常に声掛けや指導ができるようにする。
B	1年	・教師と一緒に、絵と同じ商品や硬貨を手にとることができる。	・毎時間活動の流れを一定にすることで、見通しをもって取り組めるようにする。 ・常に大人と一緒に活動することで、みんなと同じ動きができるようにする。
C	3年	・商品の合計金額を計算し、合計金額の硬貨を並べて半分にすることで、半額の金額を求めることができる。	・ワークシートに商品の値段と個数を記入していくことで立式できるようにする。 ・早く課題が終わったときのために、いくつかの難易度の課題を用意しておく。
D	3年	・提示された商品を持ってきて、購入するのに必要な枚数の10円玉と100円玉を出すことができる。	・位取りシートを活用し、合計金額を出すようにする。 ・活動が停滞しないように、定期的に教師が声掛けするようにする。
E	4年	・合計金額を2で割ることで、半額の金額を求めることができる。	・ワークシートに商品の値段と個数を記入していくことで立式できるようにする。 ・授業に自信を持って取り組めるよう、分かる課題を大目に取り入れる。
F	4年	・商品の合計金額を計算し、合計金額の硬貨を並べて半分にすることで、半額の金額を求めることができる。	・ワークシートに商品の値段と個数を記入していくことで立式できるようにする。 ・独りよがりな行動にならないように、買い物の際のルールを明確にする。
G	5年	・小数を使って半額の金額を計算を求めることができる。	・半額や3割引など、その時の様子に合わせて課題の難易度を調節する。 ・授業前にその時間の活動と頑張ることを個別に確認する。
H	5年	・合計金額を2で割ることで、半額の金額を求めることができる。	・ワークシートに商品の値段と個数を記入していくことで立式できるようにする。 ・席の配置を工夫し、集中して課題に取り組めるようにする。

6 本時の評価

(1) 共通目標に係る評価

○お金を組み合わせて支払いをすることができたか。(知識・技能)

○適切な計算方法で合計金額を求めることができたか。(思考・判断・表現)

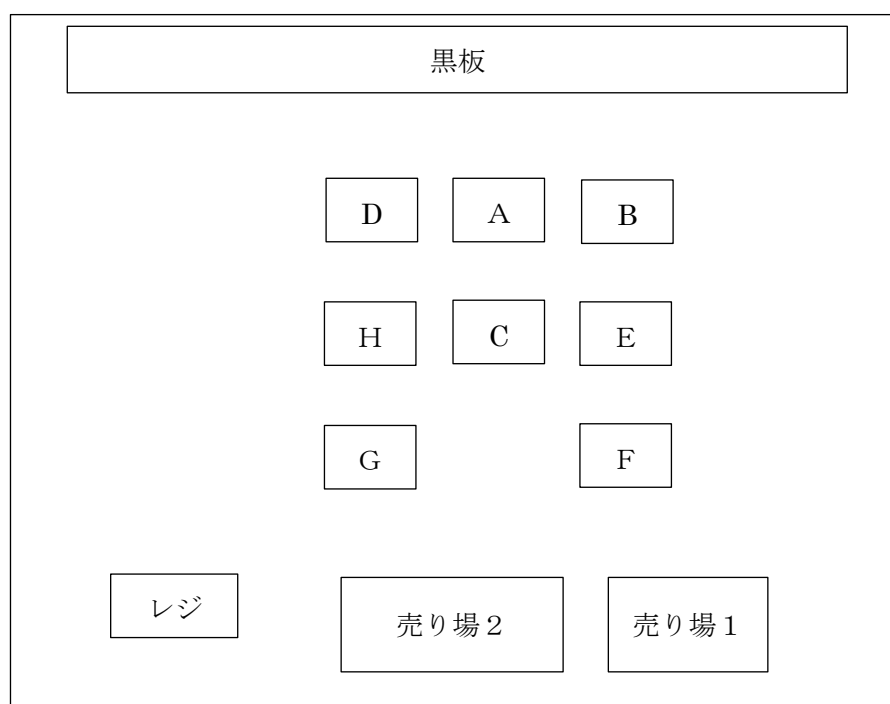
○お金を使って買い物することの楽しさに触れ、生き生きと活動していたか。

(主体的に学習に取り組む態度)

(2) 個人目標に係る評価

名前	学年	
A	1年	・提示された商品を持ってきて、購入するのに必要な枚数の10円玉と100円玉を出すことができたか。(行動観察)
B	1年	・教師と一緒に、絵と同じ商品や硬貨を手にとることができたか。(行動観察)
C	3年	・商品の合計金額を計算し、合計金額の硬貨を並べて半分にすることで、半額の金額を求めることができたか。(ワークシート)
D	3年	・提示された商品を持ってきて、購入するのに必要な枚数の10円玉と100円玉を出すことができたか。(行動観察)
E	4年	・合計金額を2で割ることで、半額の金額を求めることができたか。(ワークシート)
F	4年	・商品の合計金額を計算し、合計金額の硬貨を並べて半分にすることで、半額の金額を求めることができたか。(ワークシート)
G	5年	・小数を使って半額の金額を求めることができたか。(ワークシート)
H	5年	・合計金額を2で割ることで、半額の金額を求めることができたか。(ワークシート)

7 教室環境図



【お金と買い物】

項目	A	B	C	D	E	F	G	H
硬貨の金種を見分けることができる。(1・10・100 円玉)	△		◎	○	◎	◎	◎	◎
硬貨の金種を見分けることができる。(1～500 円玉)			◎	△	◎	◎	◎	◎
金種による金額の大小を理解している。(1・10・100 円玉)			◎	○	◎	◎	◎	◎
金種による金額の大小を理解している。(1～500 円玉)			◎	○	◎	◎	◎	◎
提示された同じ金種のお金を数えることができる。 (1・10・100 円玉のどれかで)			◎	△	◎	◎	◎	◎
提示された同じ金種のお金を数えることができる。 (1～500 円玉のどれかで)			◎		◎	◎	◎	◎
お金の等価交換ができる。(1・10・100 円玉で)			◎		◎	◎	◎	◎
お金の等価交換ができる。(1～500 円玉で)			◎		◎	◎	◎	◎
提示された 2 種類の金種のお金を数えることができる。 (1・10・100 円玉の中で)			◎	△	◎	◎	◎	◎
提示された 2 種類以上の金種のお金を数えることができる。 (1 円～500 円玉の中で)			◎		◎	◎	◎	◎
お金を出せば買い物ができることが分かる。	○		◎	◎	◎	◎	◎	◎
財布の扱い（お金の出し入れ）ができる。	○	△	◎	○	◎	◎	◎	◎
値段を見てちょうどのお金を出すことができる。			◎		◎	◎	◎	◎
値段よりも多い金額を出してお釣りをもらうことができる。			◎		◎	◎	◎	◎
買うべき物を見つけることができる。	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎
およその物の価値が分かる。			◎		◎	◎	◎	◎

◎：いつでもできる ○：できるときがある △：もう少し 空白：まだできない、やったことがない

【数と計算】

項目	A	B	C	D	E	F	G	H
10 までの数を数えることができる。	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
数の大小が分かる。	△	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎
100 までの数順が分かり、数唱ができる。		◎	◎	○	◎	◎	◎	◎
一桁の加法・減法ができる。		○	◎	◎	◎	◎	◎	◎
繰り上がりの計算ができる。			◎	○	◎	◎	◎	◎
繰り下がりの計算ができる。			◎	△	◎	◎	◎	◎
加法・減法の筆算ができる。			◎		◎	◎	◎	◎
九九の暗唱ができる。			◎	△	◎	◎	◎	◎
乗法の筆算ができる。			◎		◎	◎	◎	◎
簡単な除法ができる。			◎		◎	◎	◎	◎
除法の筆算ができる。					◎		◎	◎
小数の加法・減法ができる。					◎		◎	○
小数の乗法ができる。							◎	
小数の除法ができる。							○	
同分母の分数の加法・減法ができる。					○		○	○
異分母の分数の加法・減法ができる。								
分数の乗法・除法ができる。								

◎：いつでもできる ○：できるときがある △：もう少し 空白：まだできない、やったことがない

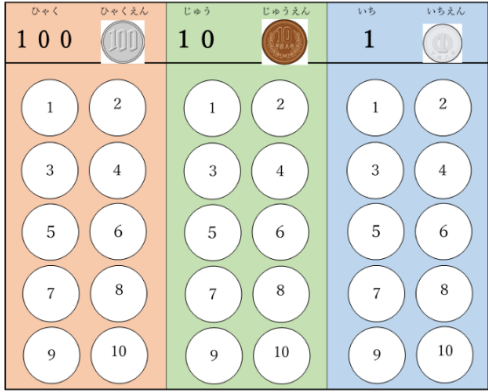
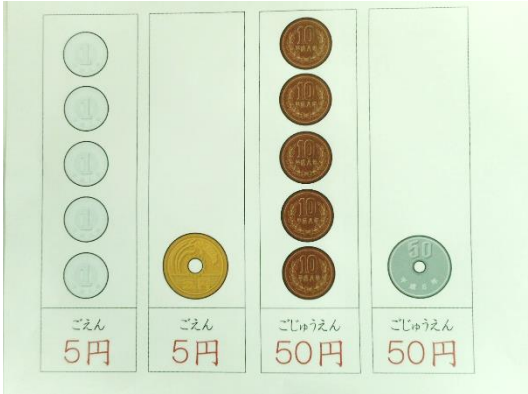
【学校生活】

項目	A	B	C	D	E	F	G	H
あいさつができる。	◎	△	○	◎	△	○	△	○
身の回りの整理整頓ができる。	○		△	○	◎	○	△	△
一人で持ち物の準備ができる。	◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎
一人で着替えができる。	◎	△	◎	◎	◎	◎	◎	◎
一人でトイレに行くことができる。	○	△	◎	◎	◎	◎	◎	◎
一人で給食を食べることができる。	○	△	◎	◎	◎	◎	◎	◎
時計を読むことができる。			◎	△	◎	◎	◎	◎
時間を意識して行動することができる。			○	△	◎	◎	△	◎
言葉でのやり取りができる	◎	△	◎	◎	◎	◎	◎	◎
友だちに優しく接することができる。	◎	○	◎	◎	○	○	○	○
友だちと一緒に遊ぶことができる。	○	△	◎	◎	◎	○	○	◎
進んで体を動かすことができる。	◎	△	○	○	◎	○	△	◎
嫌なことがあっても気持ちを切り替えることができる。	◎	○	◎	◎	○	○	△	○
決められた役割を果たすことができる。	○	△	◎	◎	◎	◎	△	◎
教師に助けを求めることができる。	◎		○	◎	○	◎	△	◎
授業中座っていることができる。	◎	△	◎	◎	○	◎	△	◎
教師の指示を聞いて理解することができる。	△	△	◎	○	◎	◎	◎	◎
課題に対して粘り強く取り組むことができる。	◎	△	◎	◎	○	◎	△	◎
教師の指示で活動を止めることができる。	◎	△	◎	◎	◎	◎	△	◎
みんなと協力して活動することができる。	○		◎	◎	◎	○	△	◎

◎：いつでもできる ○：できるときがある △：もう少し 空白：まだできない、やったことがない

資料2 本題材における使用教材

教材名	写真	○目的・効果 ☆使い方
レジ		○より実践に近い買い物の体験をすることができる。 ○電卓機能がついており、電卓を使う練習をすることができる。 ○お店の店員として、働く体験ができる。 ☆児童が店員としてレジの計算機能を使い、合計金額が合っているのかを確認する。
チラシ		○事前に何を買うのかを考えることができる。 ○買い物に対する意欲の向上につなげることができる。 ☆買い物の前に見せることで、意欲をもって買い物ができるようにする。
お店の商品		○より実践に近い買い物の体験をすることができる。 ○製作過程で定規やコンパスの使い方、はさみや糊の使い方、集中力や手指の巧緻性の向上など、様々な能力の向上が期待できる。 ☆指定された数や金額内で好きな商品を選び、合計見学を計算する。
弁別ケース		○硬貨の種類を覚えることができる。 ○位取りを意識することができる。 ☆掲示されている硬貨をヒントに、硬貨をケースの中に置く。

位取りシート		○位取りを意識することができる。 ○金額を正しく読むことができる。 ☆数種類の硬貨を使い、それぞれの硬貨を位に分ける学習をする。
等価関係カード		○5円玉や50円玉、500円玉の等価関係を視覚的に理解しやすい。 ☆等価関係の理解が難しい子に使い、視覚的に理解しやすくする。

資料3 買い物活動で使った商品（自立活動・生活単元学習・図工・算数）

商品	活動内容	数学的活動
おすし	- 紙粘土を決められた大きさと形にする。 - 画用紙を切り、紙粘土にはる。	定規を使って線を引く。
いなりずし	- 新聞紙を小さく握る。 - 握った新聞紙を封筒の中に破れないように入れる。	
餃子	- 紙に円を描き、はさみで切る。 - 新聞紙を小さく握る。 - 握った新聞紙を円形の紙で包み込む。	- コンパスを使って円を描く。 - 餃子を8個数えてパックに入れる。
ハンバーグ	- 新聞紙を小さく握る。 - 握った新聞紙を色紙で包み込む。 - 黄緑の画用紙を細く切る。 - スライムのタレを作る。	
とんかつ	- 新聞紙を小さく握る。 - 握った新聞紙を色紙で包み込む。 - 黄緑の画用紙を細く切る。 - スライムのタレを作る。	
やきそば	- 毛糸を切る。 - トングを使ってパックに入れる。	毛糸を20cmの長さで切る。
スパゲティ	- 毛糸を切る。 - トングを使ってパックに入れる。	毛糸を20cmの長さで切る。
ポテト	- 画用紙を折り、糊で貼る。 - ケースの箱を組み立てる。 - 流れ作業でポテトを箱に入れる。 - ポテトの箱を袋に入れて結ぶ。	- 定規を使って画用紙に線を引く。 - 展開図からポテトの箱を組み立てる。 - ポテトを15本数えて箱に入れる。
ハンバーガー	- 新聞紙を小さく握る。 - 握った新聞紙を色紙で包み込む。	
あんぱん	- 新聞紙を小さく握る。 - 握った新聞紙を色紙で包み込む。	
メロンパン	- 新聞紙を小さく握る。 - 握った新聞紙を色紙で包み込む。	
団子	- 紙粘土を決められた大きさの丸にする。 - 丸めた紙粘土を3つずつ竹串に刺す。 - スライムのタレを作る。	
クッキー	- 紙粘土を決められた大きさの形にする。 - クッキーを袋に入れる。	クッキーを5個数えて袋に入れる。
アメ	- 紙粘土を決められた大きさの丸にする。 - 紙粘土を色紙で包む。	
キャンディー	- 紙粘土を決められた大きさの丸にする。 - 丸めた紙粘土を一つずつ竹串に刺す。 - 紙粘土を色紙で包む。	
長ネギ	- 画用紙を縦に細く丸める。 - 画用紙の先をハサミで切る。	

(3) 展開

時間	学習活動	○児童の活動 ◎予想される児童の反応 □指導者の主な指示 ※指導の手立て *評価の観点						T2 と 支援員	備考
		A	B	CF	D	EH	G		
5 分	1 あいさつをする。	□しっかり座ってあいさつをしましょう。 ○日直のあいさつで授業をはじめる。 ※「しっかり座ろう」のカードを意識させ、良い姿勢で座れるようにする。						全体観察 (T2) Bの支援(支援員)	カード しっかり座ろう
	2 学習活動を知る。	□今日の学習活動と頑張ることを説明します。 ○授業の流れと頑張ることの掲示に注目し、授業の見通しをもつ。 ※活動の流れと頑張ることを黒板に掲示し、活動の見通しをもたせる。						全体観察 (T2) Bの支援(支援員)	活動内容の掲示 頑張ることの掲示
5 分	3 学習のポイントを知る。	□今日の学習で使う計算の仕方についての確認をします。 ○計算の仕方を確認する。 ※小数のかけ算、わり算、硬貨を使った半分の仕方についての掲示をし、実演して見せる。						全体観察 (T2) Bの支援(支援員)	硬貨の掲示 計算方法の掲示
30 分	4 買い物活動をする。	□お買い物をしましょう。 ○ワークシートの課題に沿って買い物をする。 ※個の実態に合わせたワークシートを用意する。 ※商品の掲示や実物を見せて、活動に対する意欲が高まるようにする。 ※計算の仕方が間違えている場合は、レジで修正できるようにする。						レジ周りの支援 (T2) Bの支援(支援員)	ワークシート お店の商品 レジ
		○絵と同じ商品を持ってきて、必要な枚数の硬貨を出す。 ◎自分のやることに自信が持てず、何もできなくなる。 ※毎時活動の流れを一定にし、自信を持って取り組めるようにする。	○教師と一緒に絵と同じ商品と硬貨を手にとる。 ◎活動が理解できず、そのときの気分で行動する。 ※毎時活動の流れを一定にし、見通しをもって取り組めるようにする。	○500円以下の買い物をし、半額の金額を計算する。 ◎半額の金額を求めることができない。 ※位取りシートを使い、硬貨を並べて半分にすることで、半額の金額が分かるようにする。	○絵と同じ商品を持ってきて、合計金額を計算する。 ◎合計金額を計算できない。 ※位取りシートを活用し、一人で合計金額を出せるようにする。	○500円以下の買い物をし、合計の半分の金額を計算する。 ◎半額の金額を出す際に、立式することができない。 ※ワークシートに商品の値段を記入していくことで立式できるようにする。	○500円以下の買い物をし、課題に沿った金額を計算する。 ◎内容が簡単で、意欲を失ってしまう。 ※半額や2割引の計算など、その時の様子に合わせて課題の難易度を調節する。		

		*絵と同じ商品を持ってきて、必要な枚数の10円玉と100円玉を出すことができたか。 (行動観察)	*教師と一緒に絵と同じ商品と硬貨を手にとることができる。 (行動観察)	*合計金額の硬貨を並べて半分にすることで、半額の金額を求めることができたか。 (ワークシート)	*絵と同じ商品を持ってきて、必要な枚数の10円玉と100円玉を出すことができたか。 (行動観察)	*合計金額を2で割って半額の金額を求めることができたか。 (ワークシート)	*小数の乗法の計算方法を使い、半額の金額を求めることができたか。 (ワークシート)		
5分	5 振り返りをする。	☐ 今日の活動を振り返りましょう。 ☐ 活動内容を振り返り、本時で頑張ったことを確認する。 ☐ 本時で頑張ったことを発表する。 ※個々の頑張ったことを称賛し、次時の学習への意欲につなげる。						Bの支援(支援員) 全体観察(T2)	活動内容の掲示 頑張ることの掲示
	6 あいさつをする。	☐ しっかり座ってあいさつをしましょう。 ☐ 日直のあいさつで授業をはじめる。 ※しっかり座ろうのカードを意識させ、良い姿勢で座れるようにする。						Bの支援(支援員) 全体観察(T2)	カード しっかり座ろう